

各位

上場会社名 株式会社三栄コーポレーション  
 代表者 代表取締役社長 小林敬幸  
 (コード番号 8119)  
 問合せ先責任者 財務部長 小平敏之  
 (TEL 03-3847-3500)

### 2021年3月期 業績予想、配当予想及び剰余金の配当等の決定に関する方針変更に関するお知らせ

当社は、2020年7月21日開催の取締役会において、2020年6月19日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の業績予想及び配当予想と、剰余金の配当等の決定に関する方針変更について、下記のとおり決議しましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 業績予想について

2021年3月期 第2四半期(累計)連結業績予想値(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	14,000	△900	△900	△900	△381.46
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	20,941	627	656	205	87.33

2021年3月期通期連結業績予想値(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	31,000	△1,500	△1,500	△1,600	△678.16
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	41,217	1,315	1,342	191	81.47

2021年3月期第2四半期（累計）個別業績予想値（2020年4月1日～2020年9月30日）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	—	—	—	—
今回発表予想（B）	8,600	△100	△70	△29.67
増減額（B－A）	—	—	—	
増減率（%）	—	—	—	
（ご参考）前第2四半期実績 （2020年3月期第2四半期）	12,521	426	288	122.69

2021年3月期通期個別業績予想値（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	—	—	—	—
今回発表予想（B）	17,000	△700	△600	△254.31
増減額（B－A）	—	—	—	
増減率（%）	—	—	—	
（ご参考）前期実績 （2020年3月期）	23,837	738	321	136.64

【公表の理由】

2021年3月期の連結業績予想および個別業績予想につきましては、2020年6月19日に公表いたしました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において、新型コロナウイルス感染拡大が事業活動および経営成績に与える影響を適正かつ合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、6月の緊急事態宣言解除により外出制限が解かれ経済活動が再開したことから、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき業績予想を算定いたしましたので、公表いたします。

業績予想の算定は、6月までの実績値に7月前半の受注状況や販売状況を踏まえ、売上高を前期比20%程度の減少と見込んでおります。

売上高につきましては、4月の緊急事態宣言発出によって、全国的に店舗休業を含む営業時間の短縮が行われたこと、当社グループにおいても同様に店舗休業等を行ったことから、各報告セグメントにおいて、OEM事業における受注減やブランド事業における販売機会の喪失がありました。緊急事態宣言解除後、店舗等徐々に再開しましたが、未だ消費者の購買意欲上昇は見られないことから、大幅な減収と予想しております。

利益面につきましても、サプライチェーンの高度化、Eコマースの強化や一貫したブランディングの実践、ローコストオペレーションの推進など、重点施策に取り組んでいくものの、売上減少予想により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、大幅減益を見込んでおります。

2. 配当予想について

(1) 2021年3月期配当予想

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想	—	—	—	—	—
今回発表予想	—	10円00銭	—	10円00銭	20円00銭
前期実績 （2020年3月期）	—	60円00銭	—	50円00銭	110円00銭

## (2) 配当予想の理由

2021年3月期配当予想について、2020年6月19日に公表いたしました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、業績予想を合理的に見積もることができないため未定としておりましたが、上記のとおり、新型コロナウイルス感染拡大という急激な経営環境の変化、当期の連結業績予想を勘案し、誠に遺憾ではございますが、中間配当10円、期末配当10円とし合計20円とさせていただきます見込みです。

## 3. 剰余金の配当等の決定に関する方針について

### (1) 配当方針変更の理由

当社は、株主の皆様に対する適切な利益還元を経営の重要課題と位置づけ、業績に応じて実施することを基本としつつ、企業体質の強化や将来の事業展開に備えた内部留保と、安定的な配当を基本方針としております。

しかしながら、新型コロナウイルス終息のタイミングやスピード、第2波、第3波の発生リスクなどにより、今後も業績見通しの想定を超える変化が起きる可能性が否定できないことから、従前の基本的な考え方を継続しつつ、財務体質の強化など経営の安定化を図ることも優先する必要があると判断し、方針を変更することにいたしました。

### (2) 剰余金の配当等の決定に関する方針

変更前	変更後
<p>① 利益配分に関する基本方針 当社グループは、株主の皆様に対する適切な利益還元を経営の重要課題の一つと位置付けております。株主の皆様に対する配当につきましては、<u>各会計年度の業績に応じて実施することを基本としつつ、企業体質の強化、将来の事業展開や新商品開発を積極的に推進するための内部留保の充実と安定的配当も念頭に入れた上で、総合的に判断し決定することとしており、現状は、30%程度の配当性向を目処としております。</u></p> <p>② 配当決定に関する基本方針 当社グループは、<u>2013年3月期より、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。</u>剰余金の配当等の決定機関は、<u>2012年6月28日開催の第63回定時株主総会の決議により定款が変更され、中間配当は元より、期末配当についても取締役会に授権されております。</u></p>	<p>① 利益配分に関する基本方針 当社グループは、株主の皆様に対する適切な利益還元を経営の重要課題の一つと位置付けております。<u>また、将来の事業展開や不測の事態に備えて、内部留保による財務体質の充実に努め、経営基盤の強化を図るとともに、株主の皆様に対する配当につきましては、当社グループの財政状態、今後の業績動向や資金需要などを総合的に判断し決定することとしております。</u></p> <p>② 配当決定に関する基本方針 当社グループは、<u>100年企業を目指すため、取締役会において、『随縁の思想』を新たに企業理念として決議いたしました。『随縁の思想』とは、縁に随って出会った人々がお互いに助け合うことを大切に</u>する考え方で、<u>当社創業時からの経営思想でもあります。この企業理念の下、当社との縁を紡がれた株主の皆様への配当は、株主の皆様が安心して当社株式を長期保有していただけるよう、可能な限り継続的に実施することとしております。</u> <u>なお、剰余金の配当等の決定機関は、定款に定めるとおり取締役会に授権されております。</u></p>

### (3) 実施時期

2021年3月期の中間配当(基準日:2020年9月末日)から適用いたします。

(注)本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、様々な要因により実際の業績等は異なる結果となる可能性があります。

以上